



GO!

https://www.jfaiu.gr.jp

2024.06.26

No.25-76

EXPRESS

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

整備士人材の確保・活用に向けて大幅な見直しへ！ ～国が公表した「中間とりまとめ」に航空連合の要望が反映！～

6月20日（木）、第7回航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会が開催され、2月開始以来の議論経緯を踏まえた「中間とりまとめ」が公表されました（以下参照）。今後は事業者も含めて、実効性を高めるための具体的な検証・検討がおこなわれることとなっており、航空連合としても関係加盟組合と連携し、対応していきます。

重点項目	ポイント
1. 資格の業務範囲を広げ、整備士一人ですることができる仕事の範囲を拡大	日常の運航間の点検作業（ライン整備）を運航整備士で今よりも可能となるよう制度を見直し
2. 型式別のライセンスの共通化	日常の運航間点検など軽微な作業について型式毎のライセンスを不要へ
3. 時間ベースの教育から能力ベースの教育へ	一律の時間（2,970時間など）に加え、能力ベース(カリキュラム・評価手法等)も可能に
4. 最近の機体整備技術を踏まえた試験項目への刷新	最近の機体整備技術（複合材、SWアップデート等）を前提に刷新
5. デジタル技術を活用した整備の推進	今年度に整備作業毎にリモート技術などの活用可能性を検証
6. 戦略的な普及啓蒙	官民一体の広報の中核的役割を担う協議体を構築し、SNSなどを駆使した戦略的活動を推進
7. 自衛隊整備士の活用促進	民間整備士ライセンス取得の円滑化に向け防衛省と連携
8. 外国人整備士の受け入れ拡大	受け入れ企業側と連携の上、拡大対象国・時期等を定めた計画を作成

※ 航空連合が要請していた「学科試験合格後の実地試験受験を『2年以内』とする制限に関する見直し」については「今後必要な対応を検討」と明記されました。



航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業